

ゆめ わらわ 夢 童

菅波 茂

2013年11月2日、告。AMD Aの東日本事

岡山県国際交流センター
にてAMD A「夜まわり
グループ合同シンポジウ
ム」食と人道支援と東日
本大震災を通して見えた
もの」を開催。東日本被災
地における震災ホームレ
スの支援を基点とした食
と人道支援を考えるシン
ポジウムだった。WFP
(国連世界食糧計画)日本
事務所の支援調整官であ
る中井恒二郎氏が基調講
演で「東日本大震災被災
者救援活動における物資
補給と流通」の報告。災害
救援活動のエッセンスだ
った。震災ホームレスの
お世話をされているNP
O法人仙台夜まわりグル
ープ理事長の今井誠二氏
からは「東日本大震災以
降のホームレスの現状と
その支援について」の報

告。AMD Aの東日本事
業担当の大政朋子スタッ
フからは「被災地間交流・
復興グルメF1大会の現
状」の報告。震災ホームレ
ス食糧支援のご縁をつく
られた太生山一心寺副住
職の中島泰俊氏と、おか
やまコープ専務理事の田
中照周氏から、それぞれ
活動の経過と今後の支援
への期待が述べられた。
そしてプログラムは

食と人道支援～AMD A支援農場



45人の支援農家から寄贈された支援米を囲んで開催した
シンポジウム—北区の岡山国際交流センターで

である。志の高い高校生
らに感謝をしたい。討議
に移った。岡山市会議員
・川本浩一郎氏、おかも
まコープ組織本部長の榊誠
司氏、ネットワーク「地球
村」グローカルネット吉
備の日野進一郎氏、AM
SA滝澤知佳氏のコメン
トに続き、衆議院議員・
逢沢一郎氏から総括のコ
メントをいただいた。

「援助を受ける側にも
がなく、作業段階が変わ
る度に人が変わるので、
すぐに仕事にあぶれてし
まい、簡単にホームレス
になりやすい。しかし、
東北出身の人たちは仕送
りをして東北地方の経済
を支えてきた誇りがある
故に、生活保護受給を拒
む。「お国のために尽く
してきたのに、お国のお
世話にはなりたくない」
と。一方、復興グルメF
1大会に参加している岩
手県、宮城県そして福島
県の仮設商店街は「被災
地の自分たちが立ち上が
らなくて、誰が助けてく
れる」と。2013年1月
に開催した第1回の開催
から8カ月で仮設商店街
情報共有会が立ち上がっ
た。「仮設商店街が本設の
商店街に回帰してもこの
三陸の連携は続ける」と。
「困った時はお互いさ
ま」の相互扶助。お互い
に信頼関係があればもっ
と効果的である。「AM
D A支援農場」のお米は
信頼形成を促進する。10
月に開催された第4回復
興グルメF1大会には岡
山からボランティアバス
を出した。参加者は43人。
高校生、大学生そして一
般の方々がテントの設営
から呼び込みに声を張り
上げた。汗を流した。仮
設商店街の方々と一体と
なった。お米と汗は信頼
形成への絆である。南海
トラフは近い将来起こり
得る。AMD Aの東日本
被災地復興支援活動は、
健康支援、医療機関支援、
同世代間交流、被災地間
交流、国際高校生奨学金、
ボランティア受け入れと
派遣に加えて、お米支援
と輪が広がった。仮設商
店街と震災ホームレスの
方々が断言してくれる。
「南海トラフの時には絶
対に岡山の支援に駆けつ
ける」と。

◇

11月15日掲載の山崎善
久氏は現岡山県産婦人科
医会会長でした。
(AMD Aグループ代表)